

11月5日(月)

薄 く な っ た 霊 の 幕

聖書朗読 I コリント 15:50～58

聞きなさい。私はあなたがたに奥義を告げましょう。私たちはみな、眠ることになるのではなく変えられるのです。終わりのラッパとともに、たちまち、一瞬のうちにです。
I コリント 15:51～52

100歳になるデージーという女性がいます。彼女は決して華やかな人生を送ったわけではありませんでしたが、その人生は充実し、神様の恵みに満たされたものでした。彼女は長生きし様々な経験をしてきましたが、今は何も出来ず、ただベッドに横になっているだけとなりました。ただ、神様が故郷に招いてくださるのをひたすら待ち続けています。

彼女は最近、だいぶ前に先立たれた夫がすぐ傍にいて感じているようです。さらに、ピンクの服を身にまとった女性の幻が見えるようで、その人はデージーに微笑みかけ、彼女を励ましてくれたようです。おそらく皆さんも、死を間近に控えた人が、「何かが見える」と言うのを聞いたことがあるでしょう。

この世の人生とその先の境目には、ほんの薄い霊的な幕がかかっているのです。歳をとるにつれ、その幕は徐々に薄くなっていきます。デージーや十分長生きした人たちのそうした幕は、擦り切れるくらい薄くなって、永遠との境目は殆どなくなって行くかもしれません。

この幕を完全に取り去られたのは、イエス・キリストです。そして、私たちに新しい世界を垣間見させてくださり、イエス・キリストにある新たな命をお示くださったのです。主の恵みのうちにある天使たちが私たちの傍にやってきて、最後の旅にむけて——実際はもう旅ではないのですが——、慰め、勇気づけ、励ましてくださるのです。やがて幕を形作っていた最後のより糸は消え去り、そこで私たちの救い主が待っておられるのです。過去は過ぎ去り、新たな命の始まりです。希望が現実となるのです。そこで主の愛に満ちた御顔を見ることになるでしょう。

讃美歌 第二編 187

祈り 聖なる神様。この世のはかない旅が終わるとき、あなた様が約束されたすべてが成就されるという確信をお与えくださり感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ビル・ヘネガー

カリフォルニア州 ウェストレイクビレッジ

今日の力

2012年11月5日～11月11日

翻訳 藤岡伸子

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

11月6日(火)

何 の か お り ？

聖書朗読 IIコリント 2：15，16

まことのいのちを得るために、未来に備えて良い基礎を自分自身のために築き上げるように。
I テモテ 6：19

先日、コロラドでハイキングや登山をしたときの昔のスライドを眺めていたのですが、その中でも私のお気に入り、美しい山野草の写真です。オダマキ、ヤナギトウワタ、エリトリキウム・アレチオイデス（高山植物）など、名前を挙げだしたらきりがありません。

こうした山野草には2種類の香りがあります。蜂が好きなのは甘い香りで、花から花へと飛び回りながら花粉を運ぶのですが、すべての花が甘い香りを放っているわけではありません。娘がある花のにおいをかいで、「何このにおい？ 何か腐ったような臭いがする」と言ったことがありました。花には甘くて良い香りを放つものもあれば、腐った肉のような悪臭を放ち、ハエを寄せつけて花粉を運ばせるものもあるのです。

使徒パウロは、クリスチャンについて『神の前にかぐわしいキリストのかおりなのです。』(IIコリント 2：15) と言っています。そのかおりは、ある者は引き付けますが、遠ざかる者もいます。そして、ある人にとってそのかおりは、心地よい甘い命のかおりですが、ある人にとっては悪臭となります。イエス様はこうおっしゃっています。『まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのことばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです。』(ヨハネ 5：24)。キリストに従うことは、現在とこれから先のいのちを意味するのです。これほど甘いかおりを放つものは他にはありません。

讃美歌 第二編 57

祈り 親愛なる主よ。どうか私たちがキリストの芳しいかおりを放つ者としてください。どうか、あなた様の聖霊のうちに生き、あなた様の御愛の香りを広く放つ生き方をさせてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジョン・G・マッケル
カリフォルニア州 サンディエゴ

11月7日(水)

輝 か し い 栄 光 を 見 よ

聖書朗読 IIコリント 3：12～18

私は一つのことを主に願った。私はそれを求めている。私のいのちの日の限り、主の家に住むことを。主の麗しさを仰ぎ見、その宮で、思いにふける、そのために。
詩篇 27：4

私はテニス選手、ロッド・レーバーに憧れ、彼のようになりたくて学生時代テニスをしていました。「ロケット」と呼ばれた彼は、11回グランドスラムを達成し、過去最強のテニス選手だったと思います。当時、未来のテニス界の巨匠となるビヨン・ボルグやジミー・コナーズらが現れましたが、1970年に「ロケット」は覇者となりました。私は彼のようなプレーを目標としていました。

私の大親友はギターを弾くのですが、彼は、ロック界で最も優れたギタリストとされるエリック・クラプトンを崇拝しており、彼のレコードに併せて何時間も寮の自分の部屋でギターを弾いていました。その友人ダンは、クラプトンのような優れたギタリストに憧れていたのです。

詩人で賞を受賞したゴールウェイ・キネルは、私の大学で、教授の招きにより詩の講義をしたことがあります。彼になぜ作家になったのかと尋ねると、「私は著名な詩をとにかくよく読みました。ウォルト・ホイットマンを敬愛し、草の葉は何百回も読みました」と言っていました。

私たちの目を捉えるものが、私たちのいのちを形作り、私たちが愛するものとなるのです。顔に表れるものは、私たちが見ているものを映し出します。パウロはそのことをこう言っています。『私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。』(IIコリント 3:18)。

讃美歌 第二編 111

祈り 親愛なる主よ。あなた様の御顔を隠し妨げとなるおおいを取り去ってください。そして、あなた様のご栄光を見ることが出来るようにしてください。それによって、主に似た者と変えられますように。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイビッド・ラングフォード
テキサス州 ラボック

11月8日(木)

イエス様の香ばしいかおり

聖書朗読 エペソ 5：1～5

ですから、愛されている子どもらしく、神にならう者となりなさい。また、愛のうちに歩みなさい。キリストもあなたがたを愛して、私たちのために、ご自身を神へのささげ物、また供え物とし、香ばしいかおりをおささげになりました。

エペソ 5：1～2

先日、料理のレシピを見ていて、祖母が作っていたクッキーのレシピを見つけました。作ってみなくてはと思いやってみました。祖母のクッキーように完璧に丸い形をして見た目もきれいいにはいきませんでした。においは同じいいにおいがしました。クッキーを焼いた後でちょっと外出して家に戻ってきたとき、そのクッキーのにおいでふと子どものころの記憶が甦ってきました。祖母の古びた住まい、祖母が焼いたクッキーのいいにおい。なんと素晴らしい思い出でしょう。かおりやにおいには、何か強烈な力があって、記憶を呼び覚ましたり、危険を知らせたり、私たちに生きていることを知らせてくれたりするものなのでしょう。

淹れたてのコーヒーは朝を思わせ、花の香りは春の到来を教えてください。コロンや香水の香りでも、誰が部屋に居たか分かりますね。私たちもどこへいってもイエス様の芳しいかおりを放って、周囲の人々にイエス様を伝えることができますのです。

これがいのちのかおりです。私たちはイエス様にならう者となり、そうなったときに、私たちも神に香ばしい供え物を捧げることとなるのです。

讃美歌 第二編 192

祈り 聖なるご在天のお父様。すべてを支配しておられる全能の神様。すべてよきものと全きたまものを創造されたお方、あなた様の御名が称えられますように。私たちがあなた様のために生かしてください。そしてこの地上の歩みにおいて、私たちが放つかおりによって、あなた様がこの世に遣わされた方を皆に伝えることができるようにしてください。聖なる主よ。どうかあなた様の子どもたちを恵み、愛してくださいますように。イエス様を感謝します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

エディー・フィッツジェラルド
テキサス州 ラボック

11月9日(金)

あれもこれも欲しい！

聖書朗読 エペソ 5：5～14

利得をむさぼる者は自分の家族を煩わし、まいないを憎む者は生きながらえる。

箴言 15：27

お金を誰かにもっと施すために、自分の生活のグレードアップを諦めたのは、最近ではいつだったでしょうか。これは、私が受けた「食欲さを判定するテスト」にあった質問の一つです。けれどもこんなテストは実は不要です。聖書にはそのような食欲さを警告する箇所や、私たちの性質を蝕むものについて書かれた箇所がたくさんあるからです。

食欲さとは、人が必要以上に欲しいと願うものです。古い言葉で言えば、「強欲(avarice)」つまり「裏切り」や「まいない」までも含むものです。誰かを犠牲にして自分のために富などを手に入れること。父親が、屋根の修理をせずに、自分のために車を買ってしまうようなものでしょうか。

パウロはこの食欲さを「偶像崇拜」と呼び、神様のかわりに崇める対象となっているものとしています。神様だけが崇められる対象であり、むさぼる食欲さは、心から神様を崇めることへの妨げとなるのです。

欲望が抑えられないぐらい強いときは、どうしたらよいでしょう。聖書は、何事にも満足し、気前よく振舞うことによって、食欲さを打ち砕くようにと述べています。インターネット・オークションの“イーベイ(eBay)”をチェックしたり、通販で買い物をしたりする代わりに、孤独を感じているクリスチャンの誰かとお茶を飲んだりするのはどうでしょうか。あるいは、すでに自分が手にしているものをリストアップしてみるのはいかがでしょう。リストを見たら、「なんと豊かに与えられていることでしょう。感謝です」と言えるのではないのでしょうか。

讃美歌 326

祈り お父様。むさぼりに満ちたこの世の闘いに打ち勝つ強い意志をお与えください。日々、あなた様が与えてくださる恵みに目をとめ、すでに与えられているものを感謝することができるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アンディ・ウォール
カリフォルニア州 オークパーク

11月10日（土）

愛の物語

聖書朗読 エペソ 5：22～32

いまだかつて、だれも神を見た者はありません。もし私たちが互いに愛し合うなら、神は私たちのうちにおられ、神の愛が私たちのうちに全うされるのです。

Iヨハネ 4：12

「スイートハートディナー」と名づけた集会を開くため、いつもは実用的な目的でしか使われていないホールは、ユースグループの手によって、キャンドルがともされ、その集まりにふさわしいセッティングがほどこされました。

おいしい食事をした後、その集会に出席した夫婦たちは、十代の若者たちから受けた質問を分かち合いました。結婚して間もない夫婦も、長年経っている夫婦も、二人の出会い、思い出深いデート、そして、結婚してともに人生を生きていく決意を固める期間である婚約期間などについて、楽しく分かち合いました。

結婚生活ではそんなに思い出深い経験はないかもしれませんが、神様との関係においては、誰もが何かしら特別な愛の経験をしているのではないのでしょうか。どのようにして主に会ったか、神の御子であるイエス様を通して示された御愛をどのように知り、神を愛するようになったのか。エペソ3：19にあるように、どのようにして『すべての聖徒とともに、その広さ、長さ、高さ、深さがどれほどであるかを理解する力を持つようになった』か。神様は、私たちがその偉大なる救いの賜物を受け取るとき喜んでくださいます。

私たちが結婚生活において伴侶に愛を示すことによって、この世の人生の豊かさに深みが増すでしょう。私たちに示される神様の御愛は、もっと深く、忍耐強く、犠牲の愛なのです。驚きと感謝をもって大切にし、育み、繰り返し語り伝えるべき愛の物語なのです。

讃美歌 第二編 26

祈り 親愛なる主よ。あなた様がさまざまな形で示してくださる御愛を感謝します。私たちのうちに働いて示してくださるその愛の物語をもっと皆と共有することが出来るようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

アン・スパイナー

メリーランド州 フレデリック

11月11日（日）

いかなるときも、神は善なるお方

聖書朗読 ピリピ 2：1～11

神は、みこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださるのです。

ピリピ 2：13

私は先日ある経験をしたのですが、皆さんも同じような経験があるのではないかと思います。友人が若くして亡くなりました。まったく予期せぬ出来事でした。彼はいつも私を励ましてくれ、自分のことはあまり多くは語りませんでした。だいたいうまくいっているようでした。けれども、落ち込んだり、何か心配事があったり、とても忙しいときには、こう言うのでした。「忙しいな。でも、神様のなさることはいつも良いことなんだ」と。

信仰の根幹をなすもの、どんなに辛い日々であろうと、どんな予期せぬ事態に遭遇しようと、神様はいかなるときも善をなしてくださるということを、彼は私にいつも気づかせてくれました。そんな彼を亡くし、さびしい思いでいっぱいです。

私は、何か締め切りに追われることに不平不満を述べ連ね、スケジュール調整が厄介だと思ったりするとき、友人のように、どんなときでも神様は善をなして下さるのだと自分に言い聞かせようと思います。

辛い日々がたいしたことではないと言っているわけではありません。困難や落胆も覆い隠すことができるわけではありません。ただ、信仰によって、暗いトンネルの終わりには光を見出すことができるということなのです。神様は私たちに善をなしてくださいます。すべての善きものの源なのです。だからこそ、どんな状況にあっても、神様が善であられることを覚えていれば、そこが最善の場所となるのです。

讃美歌 324

祈り 父よ。あなた様こそ善なるお方であることを覚えていることができるようにしてください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイビッド・レムリー

カリフォルニア州 マリブ